



平成30年 5月11日
国土交通省中部地方整備局
木曾川下流河川事務所
木曾岬町

げんろく
木曾川源緑地区河川防災ステーション
木曾岬町防災センターの完成式を開催します

1. 概要

- 木曾川源緑地区河川防災ステーション及び木曾岬町防災センターは、平成26年に整備を開始して以降、施設整備を進め、平成30年5月に完成しました。
- 河川防災ステーション及び防災センターは、災害時には災害復旧活動の拠点となり、平常時には町民交流の拠点となります。
- 施設完成の記念と、今後の利活用を祈念して完成式を開催します。

2. 完成式

日 時：平成30年5月20日（日） 10時より

場 所：木曾川源緑地区河川防災ステーション
（三重県桑名郡木曾岬町源緑輪中地先）

主 催：木曾川下流河川事務所、木曾岬町

出席予定：国会議員、三重県県議会議員、木曾岬町議会議員、木曾岬町長
地元自治会代表者、地元関係団体（小学校等）、施工業者
国土交通省水管理・保全局長、中部地方整備局長 他 約50名

次 第：1) 式辞
2) 来賓祝辞
3) 施設概要説明
4) テープカット

そ の 他：木曾岬町防災フェアが同時開催されます。

3. 配布資料 別紙（会場案内図、施設概要資料案、木曾岬町防災フェアチラシ）

4. 配布先 三重県政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

5. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所
工務課長 大原 和明

TEL 0594-24-5714

木曾岬町役場

危機管理課長 小島 裕紹

TEL 0567-68-6100（代）

木曾川源緑地区河川防災ステーション 木曾岬町防災センター完成式

会場案内図

車でのアクセス → 桑名市方面から国道23号木曾川大橋を渡り、最初の信号を右折し、
県道108号を南下し、信号を一つ超えた先の出入り口を右折し、会場へ

弥富市方面から国道23号富田子交差点から次の信号を左折し、
県道108号を南下し、信号を一つ超えた先の出入り口を右折し、会場へ



※国道23号からの出入りはできません

国土交通省木曾川源緑地区河川防災ステーション

(Ver H30. 5. 11)

災害に備える資材の備蓄と復旧活動拠点

木曾川源緑地区河川防災ステーションは、資機材(ブロック・割石等)の備蓄や防災センター、緊急車両用車庫、水防活動スペース、車両回転スペース、ヘリポートを備え、木曾川左岸高潮区間の災害復旧活動拠点としての役割を担います。



災害時



復旧活動は、堤防道路、国道23号から出入りします。

(A、B 堤防道路・国道23号・防災ステーション アクセス整備)

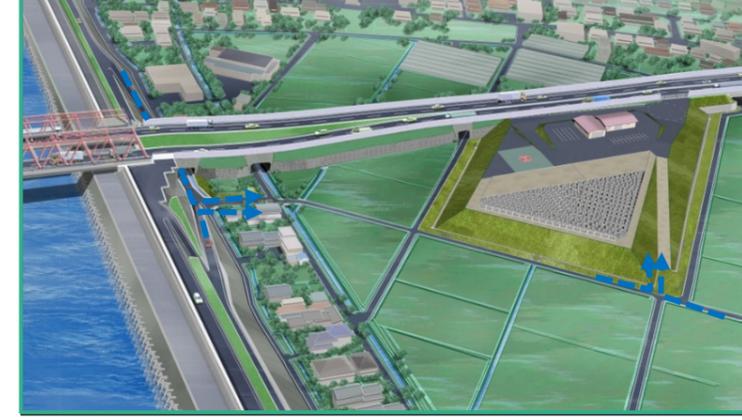
【災害時の活用】

- ①緊急復旧用資材備蓄基地
- ②災害対策車両基地
- ③車両交換場所
- ④ヘリポート
- ⑤洪水時の現地対策本部
- ⑥水防団の待機場所
- ⑦水防倉庫
- ⑧一般住民の避難場所



☆平常時には、町民交流の拠点となります。

平常時



平常利用は、木曾岬町内の道路から、出入りします。(国道23号からの出入りはできません。)

【平常時の活用】

- ①コミュニティースペースとして地域に提供
- ②水防活動の訓練等に利用
- ③防災学習施設や川の情報発信拠点として、防災センターを活用



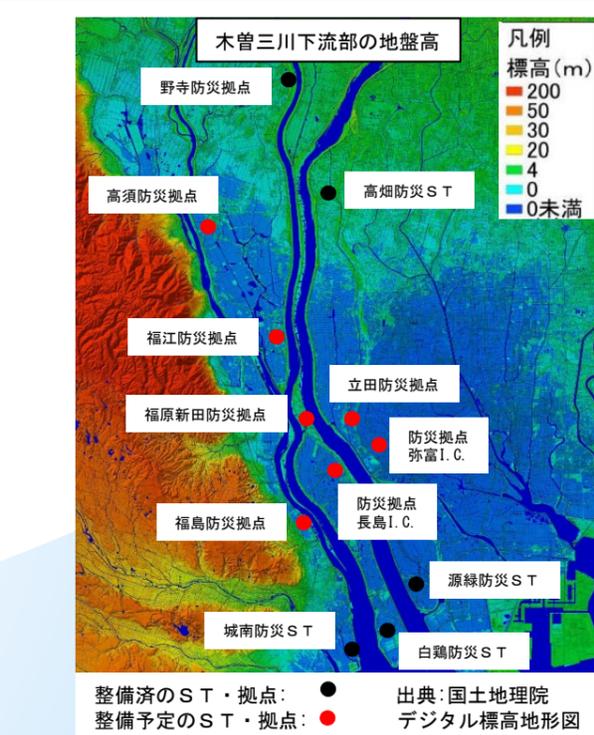
木曾三川下流部の防災拠点・防災ステーションの整備状況



木曾三川下流部は全国最大のゼロメートル地帯で、堤防が決壊した場合、浸水により甚大な被害をもたらします。

S34年9月の伊勢湾台風では至る所で堤防が決壊し甚大な被害が発生しました。(愛知、岐阜、三重3県の死者、行方不明者4,645人、被災者120万人)

このため、堤防決壊等の災害に対し、迅速に災害復旧作業を実施するため必要な資材の備蓄、および復旧作業の拠点となる施設の整備を実施しています。



【主な備蓄資材】	【施設】
・備蓄ブロック 860個	・木曾岬町防災センター(木曾岬町)
・備蓄割石 6,100m ³	・緊急車両用車庫、水防活動スペース、車両回転スペース、ヘリポート
・備蓄土砂 20,000m ³	

※ 施設規模は堤防延長200mが1箇所決壊した場合を想定し、緊急復旧活動に必要な資機材を備蓄します。

【問合せ先】

木曾岬町防災センターに関すること
木曾岬町 危機管理課

木曾川源緑地区河川防災ステーションに関すること
国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 工務課

TEL 0567-68-6101 FAX 0567-68-3792 TEL 0594-24-5714 FAX 0594-24-5727

出典:国土地理院 デジタル標高地形図

木曾岬町防災センター

災害に備え 日頃から親しめる空間に…



外観

施設の概要

事業概要	災害から町民の生命及び財産を守るとともに、日ごろから防災に関する啓発や教育、訓練の場として活用することを目的に、木曾岬町防災センターを建築する。
住所	桑名郡木曾岬町源緑輪中
構造	鉄骨造 2階建
延べ面積	368.44㎡ (1階 182.68㎡ 2階 185.76㎡)
収容人数	256名 (2階 111名 屋上 145名)
敷地面積	12,618.95㎡
用途	風水害時の活動拠点施設、災害時の一時避難場所
室の種類	(1階) 会議室・管理室兼水防活動司令室、待機室、倉庫・車庫 (2階) 会議室、倉庫 (共通) 給湯室、男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ



会議室(2階)

災害時は避難場所に
平常時はコミュニティの場に



会議室・管理室兼水防活動司令室

災害時の活動拠点



多目的トイレ

衛生面にも配慮



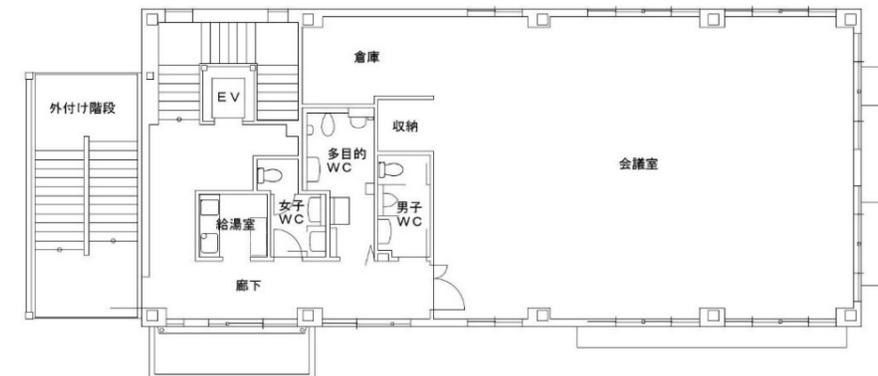
屋上

災害時は避難場所に
平常時は360°パノラマ風景

平面図



1階



2階

木曽岬町 防災 フェア

とき
平成30年
5月20日 日
午前10時から午後3時

ところ
木曽川源緑地区
河川防災ステーション

災害時に役立つ体験型イベントが勢ぞろい!!

三重県警察による

ヘリコプターの 着陸訓練 (着陸後は展示)



午前11時頃

国土交通省による

照明車 操作 体験



わいわい市場実行委員会による
地元アイデアが詰まった

木曽岬新メニュー の販売



自衛隊による

非常食の 試食



国土交通省による

防災科学実験コーナー



(株)バンダイナムコエンターテインメント&桑名工業高校による

ドッジビーコーナー



© BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

桑名市消防署による

煙体験



桑名市消防署長島木曽岬分署による

ミニ消防車 乗車体験



国土交通省による

浸水時のドア開閉体験



日本赤十字社による

水上救助活動 展示・体験



木曽岬町

防災センター見学会

主催 木曽岬町

協力 (順不同) 国土交通省木曽川下流河川事務所、三重県警察、桑名警察署、桑名市消防本部、陸上自衛隊第33普通科連隊、日本赤十字社三重県支部、木曽岬わいわい市場実行委員会、(株)バンダイナムコエンターテインメント、三重県立桑名工業高等学校、アイトム建設(株)

注意：駐車場に限りがありますので、お近くの方は徒歩または自転車でお越しください。

木曽川源緑地区河川防災エナジション全景

(ドローンによる航空写真)

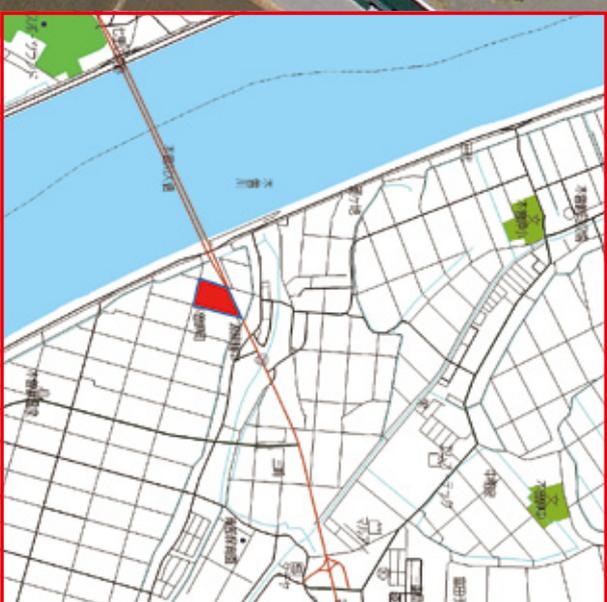
防災フェア会場

※破線内の駐車エリアはご利用できません。

注意

駐車場には限りがありますので、お近くの方は
徒歩または自転車でお越しください。

※会場周辺での駐輪、駐車については誘導員がご案内いたします。
※国道23号からは出入りできません。



平成30年4月16日現在の様子